

第3号議案

2018～2027年度の連系線の運用容量（年間計画・長期計画）の一部変更について（案）

第145回理事会（第4号議案）で決議した2018～2027年度の連系線の運用容量（年間計画・長期計画）のうち北陸関西間連系線の運用容量（年間計画）を業務規程第126条に基づき別紙1のとおり一部変更し、別紙2により本機関ウェブサイトにて公表する。

（1）変更理由

今秋発生した北陸エリア内の大容量電源停止以降、北陸関西間連系線（北陸フェンス）の北陸受電方向については、スポット断面では市場分断していないものの、時間前市場後は空容量が「0」となっている時間帯が多く発生している。このため、今冬の北陸関西間連系線（北陸フェンス）運用容量の細分化を実施し、2018年度の12月以降分について運用容量を変更する。なお、2019年度以降については、運用容量検討会で検討のうえ、2019年2月の理事会で決定する。

（2）変更内容

これまで平日昼間帯、平日昼間帯以外の年間2断面であったところを、本年度冬期（2018年12月～2019年3月）の断面において期待できる負荷制限量を踏まえ、別紙1のとおり変更する。

（3）変更日

平成30年11月28日

（4）公表内容

別紙2のとおり（公表日：平成30年11月28日）

【添付資料】

別紙1：2018～2027年度の連系線の運用容量（年間計画・長期計画）の一部変更について

別紙2：ウェブサイト公表文（2018～2027年度の連系線の運用容量の一部変更について）

【業務規程 一部抜粋】

(運用容量の設定)

第126条 本機関は、翌年度以降の長期及び年間における連系線の運用容量（以下、本章において「運用容量」という。）を算出するため、連系線を維持し運用する一般送配電事業者及び送電事業者たる会員との間で検討会（以下「運用容量検討会」という。）を設け、運用容量検討会の検討を踏まえ、毎年5月末日までに、検討スケジュール、運用容量の算出断面、需要その他の検討条件を定め、これを公表する。この際、運用容量の算出断面を季節別、平休日別等に細分化することにより、市場分断の発生を回避することが見込まれるときは、その細分化を行う。

2 本機関は、前項に基づき公表した検討条件に関し、他の供給区域からの電気の調達又は他の供給区域への電気の販売を行おうとする電気供給事業者からの要望を受けたときは、運用容量検討会において対応を審議し、必要に応じ、検討条件の見直しを行う。（以下略）

以上

2018～2027年度の連系線の運用容量 (年間計画・長期計画)の一部変更について

電力広域的運営推進機関

2018年度の運用容量変更点

変更前

[万kW]

平日昼間帯（4月～3月）	
北陸フェンス（北陸受電方向）	130
中部北陸間連系設備（北陸向）	30
北陸関西間連系線（北陸向）	130

平日昼間帯以外（4月～3月）	
北陸フェンス（北陸受電方向）	60
中部北陸間連系設備（北陸向）	30
北陸関西間連系線（北陸向）	60

5月の最過酷ケースで通年分の運用容量を算出

変更後

[万kW]



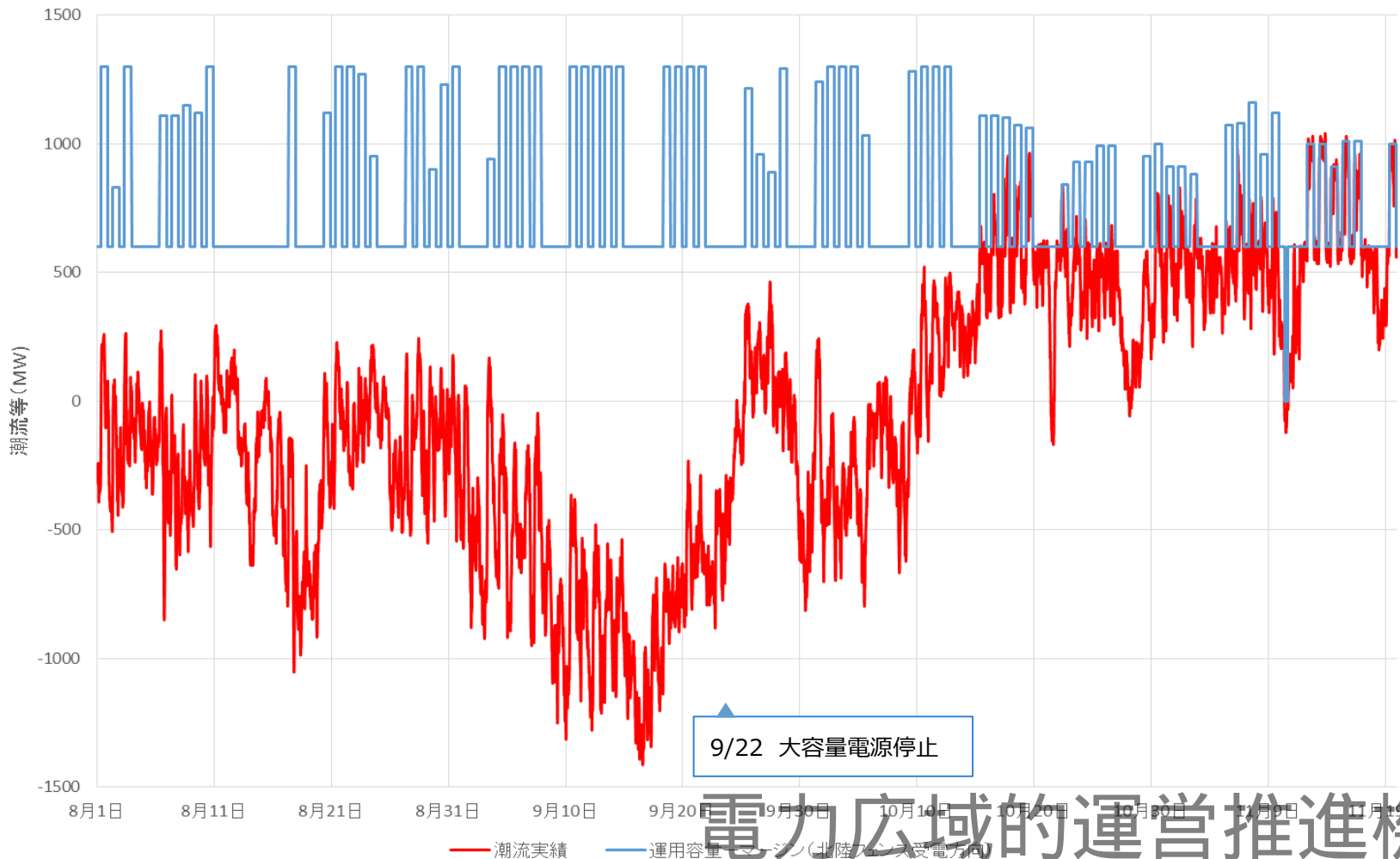
平日昼間帯（12月～3月）	
北陸フェンス（北陸受電方向）	160
中部北陸間連系設備（北陸向）	30
北陸関西間連系線（北陸向）	160

平日昼間帯以外（12月～3月）	
北陸フェンス（北陸受電方向）	90
中部北陸間連系設備（北陸向）	30
北陸関西間連系線（北陸向）	90

平日昼間帯については3月の最過酷ケース、平日昼間帯以外については年末年始の最過酷ケースで12月～3月の運用容量を算出

9/22以降、スポット市場における市場分断は発生していないものの、時間前市場後に空容量が「0」となる時間帯が多くみられる。(10/1~11/20の間において約17%のコマで空容量が0となっている。)

北陸フェンス実績



2017年度第4回運用容量検討会 資料1 - 3より引用

<考え方>

- 北陸関西間連系線がルート断（2回線故障）した場合において、それぞれの系統が大幅に周波数上昇（または低下）することなく、周波数面からの系統安定維持が可能となる潮流の値とする。

<検討条件>

● 算術式

北陸系統

系統容量×系統特性定数（－発電機解列量）¹⁾

1)（ ）は周波数低下側のみ

● 電源制限・負荷制限の織り込み

- 北陸系統 電源制限、負荷制限：あり

北陸系統において、連系線2回線故障により系統分離が発生し、規定の周波数限度を上回る（または下回る）と想定される場合には、**周波数を規定の範囲内に収めるために、電源制限（または負荷制限）を行う。**

2018～2027年度の連系線の運用容量の一部変更について

2018年3月1日に公表した「2018～2027年度の連系線の運用容量(年間計画・長期計画)」の北陸関西間連系線(北陸向)において、運用容量の細分化を行ったことから、別紙のとおり変更いたします。

別紙

[2018～2027年度の連系線の運用容量\(年間計画・長期計画\)の一部変更について](#)  (OOkB)

添付略

※運用容量等詳細は系統情報サービスをご覧ください。

[系統情報サービス](#) > [地域間連系線情報](#) > [連系線空容量参照](#) > [連系線空容量](#)

関連リンク

- [運用容量検討会の資料](#)
- [2018～2027年度の連系線の運用容量について\(年間計画・長期計画\)](#) (2018年3月1日公表)